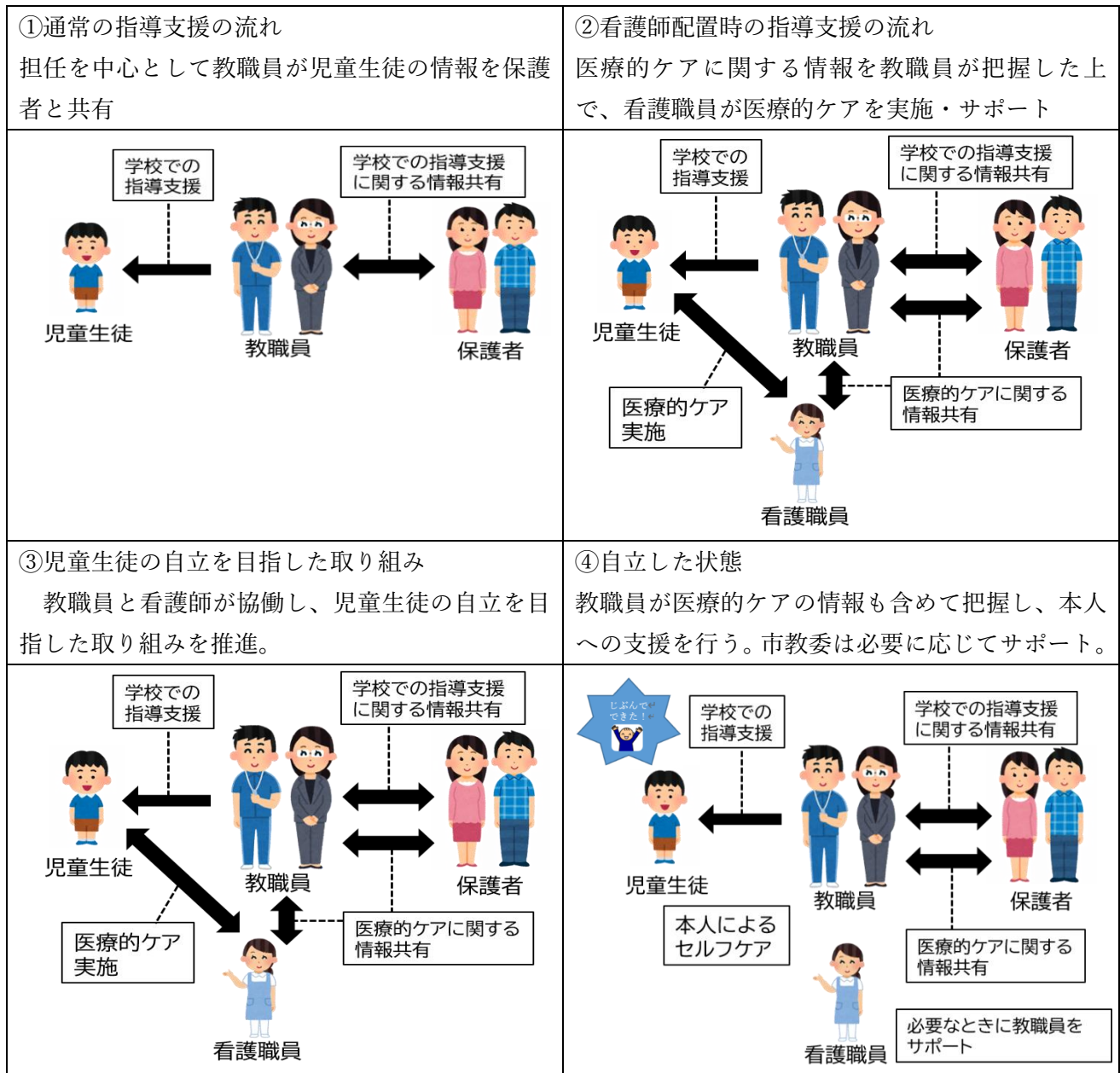


1 令和8年度の松戸市教育委員会の医療的ケア実施状況

医療的ケア対象児童生徒	医療的ケア看護職員	医療的ケアの内容
4校4名	4名 会計年度任用職員（週5日）	気管切開1名 導尿3名

2 医療的ケア実施体制について



3 成果と課題

成果	課題と対応
・教育委員会から看護職員に「自立と社会参加」に向けた指導支援を行うことを明確に伝えることができている。 ・指導主事と看護職員がミーティングを行い、児童生徒の様子を踏まえた支援について検討している。 ・複数の看護職員が関わることで、評価の妥当性が向上し、過不足のない支援を行うことができている。 ・巡回型にすることで、看護職員が医療的ケア以外の業務に介入する機会に専念でき、業務内容が明確になっている。	・「児童生徒の自立を目指した取り組み」「巡回指導体制」等実施前から保護者・学校へ、丁寧に説明を行っていく。 ・学校が安心して、医療的ケア児の指導・支援を主体的に行えるように、児童の様子について情報共有を行っていく。 ・今後、人工呼吸器や気管切開などにより、常時対応が必要な児童生徒が入学した場合の対応を引き続き検討する必要がある。巡回型の強みを生かし、ローテーション勤務を行って複数の看護職員が対応できるようにするなどして対応を検討していく。